

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	4 子育てと仕事の両立支援	② 施策番号	4304
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 子どもと大人が夢や希望を持ち、ともに成長できるまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 子育てしやすい環境の整備		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
健康福祉部	保育子育て支援課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	・未就学児(一部12歳以下)及びその保護者 ・保育サービスを行う事業者
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	・未就学児及びその保護者に対し、様々な保育サービスを提供し、就労のほか様々な理由により子育てが難しい保護者に対する支援を行う。 ・保育事業を実施する民間法人に対する支援を行い、待機児童の解消及び保育サービスの充実を図る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	少子高齢化が進行するなか、女性の社会進出による子育てと仕事の両立、地域社会における連帯意識の希薄化・孤立化、核家族化の進行により、育児の孤立化、地域の子ども同士の遊び場不足など子育て環境は複合的に深刻化している。そのため、保育サービスをはじめとした、子育て支援施策のさらなる充実が求められる。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 待機児童数 計算式:	人	多種多様化する保護者の就労形態やニーズに応えるため、保育所・認定こども園等の受け入れ態勢を整える。
② 入所(園)者数 計算式:	人	多種多様化する保護者の就労形態やニーズに応えるため、保育所・認定こども園等の受け入れ態勢を整える。
③ ファミリー・サポート・センター活動件数 計算式:	件	就労する保護者等が仕事と子育てを両立できる環境づくりを行い、育児不安・負担を軽減する。

指標名	単位	実績					目標		備考
		H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標			
① 待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	0		
		実績値	0	0	0	—	—		
		達成率							
② 入所(園)者数	人	目標値	1,040	1,067	1,065	1,115	1,125		
		実績値	1,040	1,067	1,065	—	—		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
③ ファミリー・サポート・センター活動件数	件	目標値	625	449	177	180	180		
		実績値	625	449	177	—	—		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%				

[3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方向性	
1 ファミリーサポートセンター事業	活動件数	件	449	177	180	8,035	6,208	6,561	B	イ b	○
2 民間保育所等支援事業	入園者数	人	757	777	1049	1,012,014	1,017,337	990,790	A	ア	○
3 保育子育て支援事業	入所者数	人	1067	1065	1115	12,783	13,090	20,446	B	イ e	◎
4 保育所事業	入所者数	人	134	119	120	203,587	144,733	148,485	A	ア	▲
5 認定こども園事業	入所者数	人	168	154	160	253,575	187,535	189,183	A	ア	
6											
7											
8											
計	5					1,489,994	1,368,903	1,355,465			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	保育所の民営化により生じた効果額を用いて子育て支援事業の展開を図ることで、共働き家庭においては、安心して働きたい子どもを産み育てられる環境づくりに貢献する。また、在宅における子育てを行う家庭においても、同じ環境におかれている保護者との交流の場を設けることで、保護者のリフレッシュが図られ、安心して子育てができる環境づくりが可能となる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	少子化の流れにあっても、支援を必要とする児童数は増えてきている。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	これまで2保育所の民営化を行い、平成27年度からは市内3か所目の民営化保育所として、ニテイキッズ泉南保育園が開設された。また、同年度から浜保育所に指定管理者制度を導入し、旧公立保育所4か所において、官から民による保育運営の展開を行っている。また、同年度から新たな保育需要に対応するため、小規模保育事業2か所を認可し、民間活力による保育需要の受け入れ体制を強化している。今後の課題としては、国有地に立地する浜保育所を民営化することは困難であるため、指定管理期間終了後の在り方について検討していく必要がある。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	関係機関や保護者の意見をいただき、研修等への積極的な参加を促し、保育の質の向上に努めている。また、老朽化した施設については、効果額を活用し、計画的に改修を行い、建物の延命に努めているが、まだまだ十分な改修ができていない状況である。そのため、今後も国の補助金等を活用し、随時改修を進めていく。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	浜保育所の指定管理制度導入により、事業の縮小化は一定終了したものと考えている。今後は、運営経費において、できるだけ節約に努め、懸案事項である施設の改修、また、今後ますます増加する保育需要に対し、重点的に展開していく。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	0歳児や1歳児における保育需要が年々増加していることから、新たな国の施策等を利用した受け皿の確保に努めていく必要がある。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	今後の供給体制を再検証し、安全・安心な保育の提供のため、雨漏り箇所等の改修を行い、安全な保育ができる環境を確保する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	浜保育所の移転先になる土地の整備、移転に向けて指定管理者と協議を進める。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	今後益々増加が見込まれる需要に対して、供給量の見直し、体制の強化を図る。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	待機児童が0人であり、施策が適切に行われている。 保育需要に適切に対応できるよう、施設の老朽化対策を踏まえた今後の事業展開について計画的な対応を検討されたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある